キャラクター名
875さん

プレイヤー名

シンドローム	バロール バロール	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	UGN支部長
オプショナル		年齢	9ヵ年	性別	女性
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	37 %
出自	被検体	経験	別離	邂逅	主人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	2	0	3		3	8
精神	4	0	0			4
社会	2	0	0			2

HP	26
行動値	20
(非装備時)	20
戦闘移動	25
全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	2	
運転：			芸術：	1		知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
瞬時砲塔形成	射撃	18r		21		c値-2 1+2+3+4+5+9+手裏剣 ｺｽﾄ15 HP-5
緊急装甲建造		0				時の棺
手裏剣（棒型）	射撃	8r	0	2		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
手裏剣	
ウェポンケース	
コネ:情報収集チーム	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
実験体	P	N		
ご主人様	Pやれやれ	Nまたですか		
被検体仲間	P　懐旧	N　不安		
リローデッド	P 好奇心	N　脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8	残り財産P： 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ:ﾊﾞﾛｰﾙ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：C-lv（下限値7）								
魔王の理	2	2	ﾒｼﾞｬｰ			対決		
効果：攻撃力+[lv×2]								
黒星の門	5	2	ﾒｼﾞｬｰ			対決	ﾋﾟｭｱ	
効果：判定ダイス+[lv+1]同一ｴﾝｹﾞｰｼﾞ解禁								
瞬速の刃	5	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器		対決		
効果：判定ダイス+[lv+1]								
巨人の斧	5	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器		対決		
効果：攻撃力+[lv×3]、ダイス-2								
時の棺	1	10	ｵｰﾄ			自動	100↑	
効果：判定自動失敗								
ｵﾘｼﾞﾝ:ﾐﾈﾗﾙ	1	2	ﾏｲﾅｰ			自動		
効果：シーン中装甲値+[lv×2]								
ﾋｭｰﾏﾝｽﾞﾈｲﾊﾞｰ	1	+5	常時			自動		
効果：衝動判定ダイス+lv								
暗黒の槍	1	3	ﾒｼﾞｬｰ			対決		
効果：装甲値無視。HP5点消費。ｼﾅﾘｵlv回								
ﾎﾟｹｯﾄﾃﾞｨﾒﾝｼﾞｮﾝ	1							
効果：								
ﾃﾞｨﾒﾝｼﾞｮﾝｹﾞｰﾄ	1							
効果：								
効果：								
効果：								

旧日本帝国軍科学部残党による《レネゲイドの圧縮加工技術応用による人ロレネゲイドビーイング創造計画》通称《8号計画》検体番号075番。全八体ある成果物の一人。もはや《愚者の石》ですらないレネゲイドの結晶を核として動く陶器製の球体関節人形。

UGN所属のエージェントにより救出され研究所は消滅、行く宛の無かった彼女はエージェントから「875（はなこ）」と名付けられ暫く行動を共にした。

5年後、エージェントはUGN上層部から支部を任されるがこれを放棄。旅にでてしまい数年に1度しか帰って来なくなった。代わりに相方として頭角を現し始めていた875が支部長に任命された。そんなこんなで彼女が何時でも帰って来られるようにこまめに掃除をしつつ業務をこなし2年が経った。侍女姿はエージェントの趣味。

極度の方向音痴で迷った先でトラブルに巻き込まれる事が多い。コードネームの由来でどちらかといえば蔑称。支部長になって良かったことは取り敢えず街中でぶっぱなしても怒ってくる人が居なくなったこと。支部員からは「支部から出ないでくれ」と懇願されたりしている。

戦闘スタイルは棒手裏剣の高速射出による狙撃（着弾地点が軽く抉れるので寧ろ砲撃）。防御手段に乏しいため緊急時には道路を引き剥がして壁にする。ほんと勘弁して欲しい（補修班の嘆き）